

# 本管掘削土量 内訳集計表

工事名 木之本西幹線投入点(17)接続工事(難波第3工区)

費用区分 補助

掘削機械	掘削土木 [m3]	掘削下水 [m3]	掘削土量計 [m3]		基面整正 [m2]
0.28m3(0.20)		62.379	62.379		
合計		62.379	62.379		

# 本管理戻土量 内訳集計表

工事名 木之本西幹線投入点(17)接続工事(難波第3工区)

費用区分 補助

掘削機械 0.28m3(0.20)

埋戻種別	埋戻土量[m3]				
	埋戻A1	埋戻A2	埋戻B1	埋戻B2	流用A区分
流用土		4.930		37.546	
合計		4.930		37.546	

土量合計	42.476
------	--------

# 本管発生土処理 内訳集計表

工事名 木之本西幹線投入点(17)接続工事(難波第3工区)

費用区分 補助

運搬機械	人力[m3]		BH0.13(0.10)[m3]		BH0.28m3(0.20)[m3]		BH0.45m3(0.35)[m3]		BH0.80m3(0.60)[m3]		合計	
	一般土木	下水道	一般土木	下水道	一般土木	下水道	一般土木	下水道	一般土木	下水道	一般土木	下水道
DT4t						15.230						15.230
合計						15.230						15.230

合計	15.230
----	--------

# 本管布設 内訳集計表

工事名 木之本西幹線投入点(17)接続工事(難波第3工区)

費用区分 補助

管種 リブ管

管径 [mm]	管 材料費					管布設工 [m]	マンホール 削孔[箇所]	区間延長 [m]
	片受直管 [本]	調整管[本]		副管継手(外)[本]	副管継手(内)[本]			
200	4	2			2	21.000	2	23.48

本管 基礎工 内訳集計表

工事名 木之本西幹線投入点(17)接続工事(難波第3工区)

費用区分 補助  
基礎高[m] 0.406

種別	基礎工 [m3]					管防護工 [m3]					合計
	人力	BH0.13m3(0.10)	BH0.28m3(0.20)	BH0.45m3(0.35)	BH0.80m3(0.60)	人力	BH0.13m3(0.10)	BH0.28m3(0.20)	BH0.45m3(0.35)	BH0.80m3(0.60)	
RC-30			2.465					6.761			9.226
合計			2.465					6.761			9.226

管渠延長合計	21.380
--------	--------

土留工集計表（本管）

工事名 木之本西幹線投入点(17)接続工事(難波第3工区)

費用区分補助

管種 リブ管

矢板 アルミ矢板

掘削機種	掘削深 [m]	土留めなし												合計	掘削機種 毎合計
	掘削幅 [m]	～1.5	1.51～1.55	1.56～2	2.01～2.05	2.06～2.5	2.51～2.6	2.61～3	3.01～3.3	3.31～3.5	3.51～3.8	3.81～5			
0.28m3 (0.20)	～0.97													23.480	23.480
	～1.22						16.280	7.200							
	～1.62														
掘削幅 毎合計	～0.97													23.480	23.480
	～1.22						16.280	7.200							
	～1.62														
掘削深毎 合計							16.280	7.200						23.480	

総合計	23.480
-----	--------

マンホール設置工 集計表(1)

工事名 木之本西幹線投入点(17)接続工事(難波第3工区)

費用区分 補助

蓋受枠 T-25(φ600) 0箇所

マンホール形式	設置箇所数 [箇所]	インバート [個]	底版 [個]	躯体ブロック [個]								斜壁 [個]				直壁 [個]								調整リング[個]			調整金具[個]				蓋受枠 [箇所]	平均マンホール深[m]
				1.8	1.5	1.2	0.9	0.6				0.6	0.45	0.3		1.8	1.5	1.2	0.9	0.6	0.3				5cm	10cm	15cm	15mm	25mm	45mm		
1号	2	2																														
合計	2	2																														

マンホール形式	設置箇所数 [箇所]	インバート [個]	底版 [個]	躯体ブロック [個]								斜壁 [個]				直壁 [個]								調整リング[個]			調整金具[個]				蓋受枠 [箇所]	平均マンホール深[m]
				2.4	2.1	1.8	1.5	1.2	0.9			0.45	0.3			2.4	2.1	1.8	1.5	1.2	0.9	0.6			5cm	10cm	15cm	15mm	25mm	45mm		
2号																																
合計																																

マンホール設置工 集計表(2)

工事名 木之本西幹線投入点(17)接続工事(難波第3工区)

費用区分 補助

蓋受枠 T-25(φ600)

マンホール形式	流入管削孔 [箇所]												ゴム製ジョイント [箇所]											
	φ100	φ125	φ150	φ200	φ250	φ300	予備	予備	予備	予備	予備	予備	HP250	HP300	PRP150	PRP200	PRP250	PRP300	VU100	VU125	VU150	VU200	VU250	VU300
1号																								
合計																								

# 管口止水 集計表

工事名 木之本西幹線投入点(17)接続工事(難波第3工区)

費用区分 補助

蓋受枠 T-25(φ600)

マンホール形式 1号

管種	管口止水[箇所]											
	φ100	φ125	φ150	φ200	φ250	φ300						
リブ管				2								
合計				2								

蓋受枠 T-25(φ600)

マンホール形式 2号

管種	管口止水[箇所]											
	φ100	φ125	φ150	φ200	φ250	φ300						
リブ管												
合計												

処理種別 当初

底部工 集計表

工事名 木之本西幹線投入点(17)接続工事(難波第3工区)

費用区分 補助  
蓋受枠 T-25(φ 600)

マンホール 形式	管径 [mm]	底部工 [箇所]			(インバート有)					
		栗石	砕石(RC-40)	底部工なし						
1号	200			2						
合計				2						

マンホール 形式	管径 [mm]	底部工 [箇所]			(インバート無)					
		栗石	砕石(RC-40)	底部工なし						
2号	250			2						
合計				2						

# マンホール副管設置 集計表

工事名 木之本西幹線投入点(17)接続工事(難波第3工区)

費用区分 補助

副管 内副管

本管 管種	本管 管径[mm]	副管 管径[mm]	段 差 [箇所]									
			0.6～	1.26～	1.76～	2.26～	2.76～	3.26～	3.76～	4.26～		
リブ管	200	150				2						
合計						2						

舗装版切断 内訳集計表

工事名 木之本西幹線投入点(17)接続工事(難波第3工区)

費用区分 補助

舗装厚 [m]	舗装版切断[m]									
	アスファルト	コンクリート(無筋)	コンクリート(有筋)							
～0.15	46.960									
合計	46.960									

舗装版破碎 内訳集計表

工事名 木之本西幹線投入点(17)接続工事(難波第3工区)

費用区分 補助

舗装種別 アスファルト

破碎機械 0.28m3(0.20)

区分	舗装厚[m]						
	～0.10	～0.15	～999.00				
本管部	24.654						
合計	24.654						

殻運搬処理
 内訳集計表

工事名
 木之本西幹線投入点(17)接続工事(難波第3工区)

費用区分
 補助

舗装種別
 アスファルト

運搬機械	人力 [m3]		BH0.13(0.10)[m3]		BH0.28(0.20)[m3]		BH0.45(0.35)[m3]		BH0.80(0.60)[m3]		合計
	本管部	取付管部	本管部	取付管部	本管部	取付管部	本管部	取付管部	本管部	取付管部	
DT4t					2.465						2.465
合計					2.465						2.465
	人力合計		0.13合計		0.28合計	2.465	0.45合計		0.80合計		

総合計	2.465
-----	-------

路盤工 内訳集計表

工事名 木之本西幹線投入点(17)接続工事(難波第3工区)

費用区分 補助

施工区分 車道

仕上がり厚 [m]	路盤工1[m2]										路盤工2[m2]									
	流用土	RC-30	RC-40	C-30	C-40	M-30	M-40	埋戻土 別途計上	山土(盛土 用)		流用土	RC-30	RC-40	C-30	C-40	M-30	M-40	埋戻土 別途計上	山土(盛土 用)	
0.17						24.654														
0.30												24.654								
合計						24.654						24.654								

# 路面復旧工 内訳集計表

工事名 木之本西幹線投入点(17)接続工事(難波第3工区)

費用区分 補助

施工区分 車道

舗装厚 [m]	路面復旧[m2]							
	再生密粒度AS13	再生密粒度AS20	密粒度AS13	密粒度AS20				
0.03	24.654							
合計	24.654							

# 土量計算書

工事番号 2

工事名 木之本西幹線投入点(17)接続工事(難波第3工区)

費用区分 補助

路線名 6-a-3		スパン番号 01-00		管種	リブ管	管径[mm]	200	矢板	アルミ矢板	破碎機械	0.28m3(0.20)[200]	掘削機械	0.28m3(0.20)[200]	運搬機種	DT4t	
現況舗装厚 [m]	0.10	復旧舗装厚[m]	0.03	管防護厚[m]	0.10	管基礎厚[m]	0.10	流用可能層厚[m]	0.000	<input type="checkbox"/> 下流マンホール削孔接続	<input checked="" type="checkbox"/> 上流マンホール削孔接続					
日進量[m/日]		本管勾配[%]	3.009	管渠継手無し[m]	14.730	調整管[本]	0.682	矢板設置率[%]	100.000	流用余り[m3]	0.000	ステップ	2.719			
人孔番号	区間延長 [m]	管渠減長 [m]	管渠延長 [m]	地盤高 [m]	管底高 [m]	施工基 面高[m]	掘削深 [m]	平均掘 削深[m]	掘削幅[m]	平均断面 積[m2]	土量[m3]	流用可能 土量[m3]	片受直管 [本]	調整長さ [m]	流出管 底高[m]	副管継手
下流側 11	16.28	1.05	15.230	86.98	84.461	84.358	2.622								81.742	内副管
上流側 a3				86.96	84.510	84.407	2.553	2.587	1.05	2.716	44.216	0.000	3	2.730		
舗装切断	32.560 [m]	16.28 ×	2					路面復旧	車道	再生密粒度AS1	17.094 [m2]	16.28 ×	1.05	復旧舗装厚	0.03[m]	
舗装取壊	17.094 [m2]	16.28 ×	1.05					埋戻A1区分		流用土	0.000 [m3]	16.28 ×	1.05 ×	0.00		
舗装取壊	1.709 [m3]	16.28 ×	1.05 ×	0.10				埋戻A2区分		流用土	3.418 [m3]	16.28 ×	1.05 ×	0.20 -	0.000 +	0.000
掘削[土木]	0.000 [m3]							埋戻B1区分		流用土	0.000 [m3]	16.28 ×	1.05 ×	0.00		
基面整正	0.000 [m2]							埋戻B2区分		流用土	25.299 [m3]	16.28 ×	1.05 ×	1.48 -	0.000	
掘削[下水]	42.507 [m3]	44.216 -	1.709					路盤工1区分	車道	M-30	17.094 [m2]	16.28 ×	1.05	路盤厚1	0.17[m]	
発生土処理	10.631 [m3]	44.216 -	1.709 -	0.000 -	31.876 +	0.000		路盤工2区分	車道	RC-30	17.094 [m2]	16.28 ×	1.05	路盤厚2	0.30[m]	
埋戻管基礎 RC-30	1.709 [m3]	16.28 ×	1.05 ×	0.10 +	0.000			流用A区分		流用土	0.000 [m3]					
埋戻管防護 RC-30	4.688 [m3]	16.28 ×	1.05 × (	0.206 +	0.10 ) -			流用B区分		流用土	0.000 [m3]					
		16.28 ×	0.206 ^2 × 0.785													

路線名 6-b-1-1		スパン番号 01-00		管種	リブ管	管径[mm]	200	矢板	アルミ矢板	破碎機械	0.28m3(0.20)[200]	掘削機械	0.28m3(0.20)[200]	運搬機種	DT4t	
現況舗装厚 [m]	0.10	復旧舗装厚[m]	0.03	管防護厚[m]	0.10	管基礎厚[m]	0.10	流用可能層厚[m]	0.000	<input type="checkbox"/> 下流マンホール削孔接続	<input checked="" type="checkbox"/> 上流マンホール削孔接続					
日進量[m/日]		本管勾配[%]	3.055	管渠継手無し[m]	5.650	調整管[本]	0.412	矢板設置率[%]	100.000	流用余り[m3]	0.000	ステップ	2.686			
人孔番号	区間延長 [m]	管渠減長 [m]	管渠延長 [m]	地盤高 [m]	管底高 [m]	施工基 面高[m]	掘削深 [m]	平均掘 削深[m]	掘削幅[m]	平均断面 積[m2]	土量[m3]	流用可能 土量[m3]	片受直管 [本]	調整長さ [m]	流出管 底高[m]	副管継手
下流側 10	7.20	1.05	6.150	86.93	84.298	84.195	2.735								81.612	内副管
上流側 b1-1				86.94	84.320	84.217	2.723	2.729	1.05	2.865	20.628	0.000	1	1.650		
舗装切断	14.400 [m]	7.20 ×	2					路面復旧	車道	再生密粒度AS1	7.560 [m2]	7.20 ×	1.05	復旧舗装厚	0.03[m]	
舗装取壊	7.560 [m2]	7.20 ×	1.05					埋戻A1区分		流用土	0.000 [m3]	7.20 ×	1.05 ×	0.00		
舗装取壊	0.756 [m3]	7.20 ×	1.05 ×	0.10				埋戻A2区分		流用土	1.512 [m3]	7.20 ×	1.05 ×	0.20 -	0.000 +	0.000
掘削[土木]	0.000 [m3]							埋戻B1区分		流用土	0.000 [m3]	7.20 ×	1.05 ×	0.00		
基面整正	0.000 [m2]							埋戻B2区分		流用土	12.247 [m3]	7.20 ×	1.05 ×	1.62 -	0.000	
掘削[下水]	19.872 [m3]	20.628 -	0.756					路盤工1区分	車道	M-30	7.560 [m2]	7.20 ×	1.05	路盤厚1	0.17[m]	
発生土処理	4.599 [m3]	20.628 -	0.756 -	0.000 -	15.272 +	0.000		路盤工2区分	車道	RC-30	7.560 [m2]	7.20 ×	1.05	路盤厚2	0.30[m]	
埋戻管基礎 RC-30	0.756 [m3]	7.20 ×	1.05 ×	0.10 +	0.000			流用A区分		流用土	0.000 [m3]					
埋戻管防護 RC-30	2.073 [m3]	7.20 ×	1.05 × (	0.206 +	0.10 ) -			流用B区分		流用土	0.000 [m3]					
		7.20 ×	0.206 ^2 × 0.785													

# マンホール設置工(1) 計算書

工事番号 2

工事名 木之本西幹線投入点(17)接続工事(難波第3工区)

費用区分 補助

マンホール形式 1号

人孔番号	人孔深 [m]	インバート [個]	底板 [個]	躯体ブロック [個]								斜壁 [個]				直壁 [個]								調整リング[個]			調整金具[個]			蓋受枠
				1.8	1.5	1.2	0.9	0.6				0.6	0.45	0.3		1.8	1.5	1.2	0.9	0.6	0.3				5cm	10cm	15cm	15mm	25mm	45mm
a3	2.450	1																												
b1-1	2.620	1																												
合計		2																												

マンホール形式 2号

人孔番号	人孔深 [m]	インバート [個]	底板 [個]	躯体ブロック [個]								斜壁 [個]				直壁 [個]								調整リング[個]			調整金具[個]			蓋受枠
				2.4	2.1	1.8	1.5	1.2	0.9			0.45	0.3			2.4	2.1	1.8	1.5	1.2	0.9	0.6			5cm	10cm	15cm	15mm	25mm	45mm
10	5.318																													
11	5.238																													
合計																														

マンホール設置工(2) 計算書

工事番号 2

工事名 木之本西幹線投入点(17)接続工事(難波第3工区)

費用区分 補助

マンホール形式 1号

人孔番号	人孔深 [m]	流入管削孔[箇所]											ゴム製ジョイント[箇所]											管口止水[箇所]		
		φ 100	φ 125	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	予備	予備	予備	予備	予備	HP250	HP300	PRP150	PRP200	PRP250	PRP300	VU100	VU125	VU150	VU200	VU250	VU300	φ 150	φ 200
a3	2.450																									1
b1-1	2.620																									1
合計																										2

マンホール形式 2号

人孔番号	人孔深 [m]	流入管削孔[箇所]											ゴム製ジョイント[箇所]											管口止水[箇所]		
		φ 100	φ 125	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	予備	予備	予備	予備	予備	HP250	HP300	PRP150	PRP200	PRP250	PRP300	VU100	VU125	VU150	VU200	VU250	VU300	φ 150	φ 200
10	5.318																									
11	5.238																									
合計																										

処理種別 当初

# マンホール副管設置 計算書

工事番号 2

工事名 木之本西幹線投入点(17)接続工事(難波第3工区)

費用区分 補助

副管 内副管

人孔番号	マンホール形式	人孔深 [m]	本管 管種	本管 管径[mm]	副管 管径[mm]	副管				段 差 [箇所]						
						高さ[m]	直管[本]	型枠[m]	生コン[m]	0.6～	1.26～	1.76～	2.26～	2.76～	3.26～	3.76～
10	2号	5.318	リブ管	200	150	2.686	0.563						1			
11	2号	5.238	リブ管	200	150	2.719	0.573						1			
合計						5.405	1.136						2			

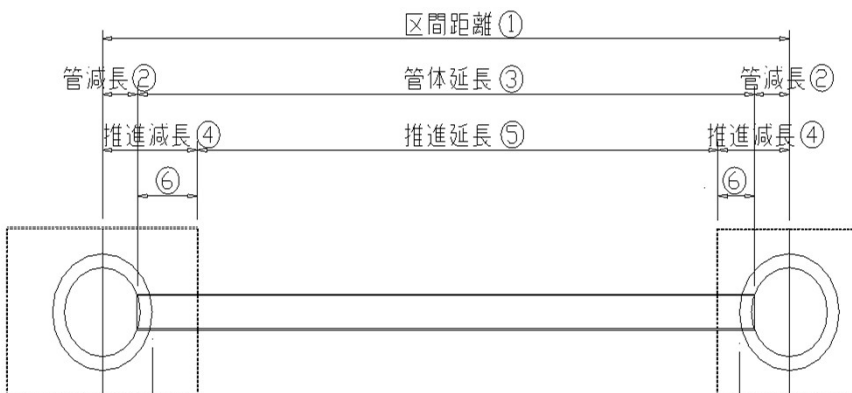
処理種別 当初

推進工 総括

[illegible]

# 推進工法材料計算書(1)

路線名	管径	マンホール番号		マンホール種別		区間延長 ①	管 減 長 ②		管体延長 ③=①-②	推進減長 ④		推進延長 ⑤=①-④	空伏(管布設工) ⑥=④-②							管 本 数 ⑨						管接合ヶ所 ⑩=⑨-1	摘 要
		下流	上流	下流	上流		下流	上流		下流	上流		下流	上流					50N	SJS	70N	SJS	短管				
																			1種	2種	1種	2種	B				
																			L=1.00m	L=1.00m	L=1.00m	L=1.00m					
単 位	m m					m	m	m	m	m	m	m							本						箇所		
小数点	—	No.		—		3位	3位	3位	3位	3位	3位	3位							単 位 限						単位限		
												=「排土管・油圧ホース等撤去工」延長 =「添加材注入工」延長															
6-b-2	○ 250	9	10	1号	2号	85.05	0.45	0.60	84.00	1.00	1.00	83.05	0.55	0.40					83					1		83	
6-b-1	○ 250	10	11	2号	2号	42.20	0.60	0.60	41.00	1.00	0.75	40.45	0.40	0.15					40					1		40	
6-a-2-2	○ 250	11	12	2号	1号	101.05	0.60	0.45	100.00	0.75	1.00	99.30	0.15	0.55					99					1		99	
計						228.30	1.65	1.65	225.00	2.75	2.75	222.80	1.10	1.10					222	0	0	0	3	0	222		



圧送排土式推進工法 仮設備工 (1)

[illegible]

# 土量計算書(集計)

No.

推進区間	土量(m3)			掘削添加材量 (1m当り)				適用
	掘削 土量	添加材 注入量	発生土 処分量	ペントナイト kg	粘土 kg	滑材 l	清水 l	
No.9到達～No.10発進	10.88	19.58	27.41	26.1	15.2	48.3	171.2	
No.10発進～No.11到達	5.30	9.54	13.36	26.1	15.2	48.3	171.2	
No.11到達～No.12発進	13.01	19.12	28.92	16.8	10.2	40.1	142.1	
計	29.19	48.24	69.69					

# 数 量 計 算 書

No.

名 称	算 式	単位	数 量
1. 掘削土量の計算 <No. 10 発進 ~ No. 9 到達>			
	推進1m当り掘削体積		
	$v = 0.131 \text{ m}^3/\text{m}$ (ローラ型)		
	推進延長		
	$L = 83.05 \text{ m}$		
	掘削土量		
	$V = 0.131 \times 83.05$	$\text{m}^3$	10.88
2. 掘削添加材注入量			
	掘削添加材注入率		
	$= 180.00 \%$		
	土質: 粗石混り礫質土(C)		
	水位: 高水位		
	掘削添加材注入量		
	$= 10.88 \times 180.00 / 100 = 19.58$	$\text{m}^3$	19.58
	$= 0.131 \times 180.00 / 100 = 0.236$	$\text{m}^3/\text{m}$	0.236
3. 発生土処分量			
	$= (10.88 + 19.58) \times 0.90$	$\text{m}^3$	27.41
	排土率		
掘削添加材量(1m当り)			
ベントナイト	$0.236 \times 11.06 \times 10$	$\text{kg}/\text{m}$	26.1
粘土	$0.236 \times 6.45 \times 10$	$\text{kg}/\text{m}$	15.2
滑材	$0.236 \times 20.46 \times 10$	$\ell/\text{m}$	48.3
清水	$0.236 \times 72.54 \times 10$	$\ell/\text{m}$	171.2
	(↑100l当り数量)		

# 数 量 計 算 書

No.

名 称	算 式	単位	数 量
1. 掘削土量の計算      <No. 10 発進 ~ No. 11 到達>			
	推進1m当り掘削体積		
	$v = 0.131 \text{ m}^3/\text{m}$ (ローラ型)		
	推進延長		
	$L = 40.45 \text{ m}$		
	掘削土量		
	$V = 0.131 \times 40.45$	$\text{m}^3$	5.30
2. 掘削添加材注入量			
	掘削添加材注入率		
	$= 180.00 \%$		
	土質: 粗石混り礫質土(C)		
	水位: 高水位		
	掘削添加材注入量		
	$= 5.30 \times 180.00 / 100 = 9.54$	$\text{m}^3$	9.54
	$= 0.131 \times 180.00 / 100 = 0.236$	$\text{m}^3/\text{m}$	0.236
3. 発生土処分量			
	$= (5.30 + 9.54) \times 0.90$	$\text{m}^3$	13.36
	排土率		
掘削添加材量(1m当り)			
ベントナイト	$0.236 \times 11.06 \times 10$	$\text{kg}/\text{m}$	26.1
粘土	$0.236 \times 6.45 \times 10$	$\text{kg}/\text{m}$	15.2
滑材	$0.236 \times 20.46 \times 10$	$\ell/\text{m}$	48.3
清水	$0.236 \times 72.54 \times 10$	$\ell/\text{m}$	171.2
	(↑100l当り数量)		

# 数 量 計 算 書

No.

名 称	算 式	単位	数 量
1. 掘削土量の計算 <No. 12 発進 ~ No. 11 到達>			
	推進1m当り掘削体積		
	$v = 0.131 \text{ m}^3/\text{m}$ (ローラ型)		
	推進延長		
	$L = 99.30 \text{ m}$		
	掘削土量		
	$V = 0.131 \times 99.30$	$\text{m}^3$	13.01
2. 掘削添加材注入量			
	掘削添加材注入率		
	$= 147.00 \%$ 複合地盤平均値		
	土質: 複合地盤		
	水位:		
	掘削添加材注入量		
	$= 13.01 \times 147.00 / 100 = 19.12$	$\text{m}^3$	19.12
	$= 0.131 \times 147.00 / 100 = 0.193$	$\text{m}^3/\text{m}$	0.193
3. 発生土処分量			
	$= (13.01 + 19.12) \times 0.90$	$\text{m}^3$	28.92
	排土率		
掘削添加材量(1m当り)			
ベントナイト	$0.193 \times 8.72 \times 10$ (複合地盤平均値)	$\text{kg}/\text{m}$	16.8
粘土	$0.193 \times 5.29 \times 10$ (複合地盤平均値)	$\text{kg}/\text{m}$	10.2
滑材	$0.193 \times 20.77 \times 10$ (複合地盤平均値)	$\text{kg}/\text{m}$	40.1
清水	$0.193 \times 73.63 \times 10$ (複合地盤平均値)	$\ell/\text{m}$	142.1
	(↑ 100l当り数量)		

## 平均配合重量・注入率の算出

No.

[illegible]

1号組立人孔数量表－ 1

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	備 考
1号組立人孔	1号人孔設置工	ブロック据付工	5. 0m<H≤6. 0m	箇所	1	
		〃	6. 0m<H≤7. 0m	箇所		
	材 料	底板ブロック Ⅰ 種	H=130	個		
		〃 Ⅱ 種	H=130	個	1	
		〃 Ⅲ 種	H=130	個		
		管取付壁ブロック Ⅰ 種	φ 900 H=600	個		
			φ 900 H=900	個		
			φ 900 H=1200	個		
			φ 900 H=1500	個		
			φ 900 H=1800	個		
			φ 900 H=2100	個		
			φ 900 H=600	個		
			φ 900 H=900	個	1	
			φ 900 H=1200	個		
			φ 900 H=1500	個		
			φ 900 H=1800	個		
			φ 900 H=2100	個		
			φ 900 H=600	個		
			φ 900 H=900	個		
			φ 900 H=1200	個		
			φ 900 H=1500	個		
			φ 900 H=1800	個		
			φ 900 H=2100	個		
		管取付壁ブロック Ⅲ 種	φ 900 H=600	個		
			φ 900 H=900	個		
			φ 900 H=1200	個		
			φ 900 H=1500	個		
			φ 900 H=1800	個		
			φ 900 H=2100	個		

1号組立人孔数量表－2

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	備 考
1号組立人孔	材 料	直壁ブロック Ⅰ 種	φ 900 H=600	個		
			φ 900 H=900	個		
			φ 900 H=1200	個	2	
			φ 900 H=1500	個	1	
			φ 900 H=1800	個		
			φ 900 H=2100	個		
		直壁ブロック Ⅱ 種	φ 900 H=600	個		
			φ 900 H=900	個		
			φ 900 H=1200	個		
			φ 900 H=1500	個		
			φ 900 H=1800	個		
			φ 900 H=2100	個		
		直壁ブロック Ⅲ 種	φ 900 H=600	個		
			φ 900 H=900	個		
			φ 900 H=1200	個		
			φ 900 H=1500	個		
			φ 900 H=1800	個		
			φ 900 H=2100	個		
		斜壁ブロック	φ 900-600 H=300	個		
			φ 900-600 H=450	個		
			φ 900-600 H=600	個	1	
		調整リング	φ 600 H=50	個	2	
			φ 600 H100	個		

1号組立人孔数量表－ 3

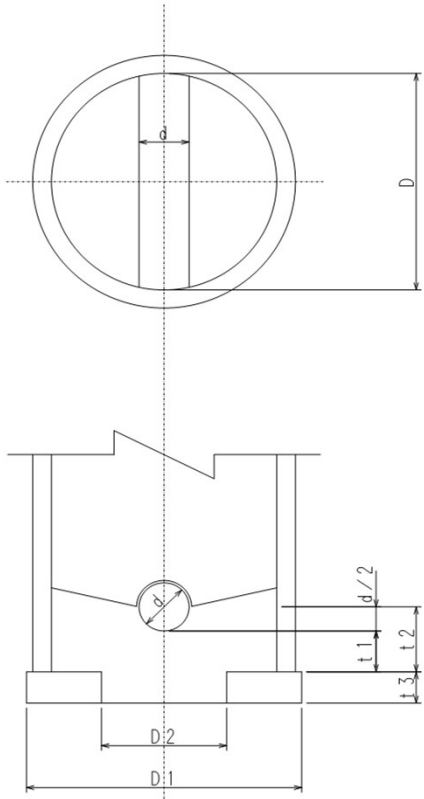
工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	備 考
1号組立人孔	材 料	調整モルタル		mm	40	
		※調整金物の場合	H=25(～25mm)	個		
			H=45(～50mm)	個	1	
		蓋及び受枠	(T-14)	個	1	
			(T-25)	個		
		グランドマンホール用 転落防止梯子		個	1	
	流入管削孔	推進管	HP φ 250	箇所	1	
		開削管	PRP φ 200	箇所		
				箇所		
	可とう継手	推進管	HP φ 250	箇所	2	
		開削管	PRP φ 200	箇所		
中間スラブ	FRP製 後付け用、2分割			組		
1号組立人孔	底部工	型 枠		m2	0.353	全体
					0.353	箇所
		コンクリート	18-8-40	m3	0.172	全体
					0.172	箇所
		モルタル	t=2cm 1 : 2	m2	0.764	全体
					0.764	箇所
調整コンクリート		コンクリート	18-8-40	m3	0.915	
No. 9	$0.275 \times 2.058^2 \times \pi / 4 = 0.915$					



## 1号組立人孔底部工計算書（1ヶ所当たり）

## 算式の根拠となる構造図・他

流入管径： d1 =	0.250 m	人孔落差： h=	0.020 m
流出管径： d2 =	0.250 m	インパ-ト厚： t1=	0.170 m
平均管径： d =	0.250 m	平均インパ-ト厚： t2=	0.305 m
人孔内径： D =	0.900 m	： t3=	m
基礎外径： D1=	1.100 m		
底板開口： D2=	m	※平均インパ-ト厚=t1+ (管径+落差) /2	

[illegible]

2号組立人孔数量表－1

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	備 考
2号組立人孔	2号人孔設置工	ブロック据付工	5.0m<H≤6.0m	箇所	2	
		〃	6.0m<H≤7.0m	箇所		
	材 料	底板ブロック Ⅰ種	H=130	個		
		〃 Ⅱ種	H=130	個	2	
		〃 Ⅲ種	H=130	個		
		管取付壁ブロック Ⅰ種	φ1200 H=600	個		
			φ1200 H=900	個		
			φ1200 H=1200	個		
			φ1200 H=1500	個		
			φ1200 H=1800	個		
			φ1200 H=2400	個		
		管取付壁ブロック Ⅱ種	φ1200 H=600	個		
			φ1200 H=900	個	2	
			φ1200 H=1200	個		
			φ1200 H=1500	個		
			φ1200 H=1800	個		
			φ1200 H=2400	個		
		管取付壁ブロック Ⅲ種	φ1200 H=600	個		
			φ1200 H=900	個		
			φ1200 H=1200	個		
			φ1200 H=1500	個		
			φ1200 H=1800	個		
			φ1200 H=2100	個		

2号組立人孔数量表－2

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	備 考
2号組立人孔	材 料	直壁ブロック Ⅰ種	φ 1200 H=600	個		
			φ 1200 H=900	個		
			φ 1200 H=1200	個		
			φ 1200 H=1500	個	2	
			φ 1200 H=1800	個		
		直壁ブロック Ⅱ種	φ 1200 H=2400	個	2	
			φ 1200 H=600	個		
			φ 1200 H=900	個		
			φ 1200 H=1200	個		
			φ 1200 H=1500	個		
		直壁ブロック Ⅲ種	φ 1200 H=1800	個		
			φ 1200 H=2400	個		
			φ 1200 H=600	個		
			φ 1200 H=900	個		
			φ 1200 H=1200	個		
		斜壁ブロック	φ 1200 H=1500	個		
			φ 1200 H=1800	個		
			φ 1200 H=2400	個		
			φ 1200-600 H=300	個		
			φ 1200-600 H=450	個	2	
		調整リング	φ 1200-600 H=600	個		
			φ 600 H=50	個	2	
			φ 600 H100	個	1	

2号組立人孔数量表－3

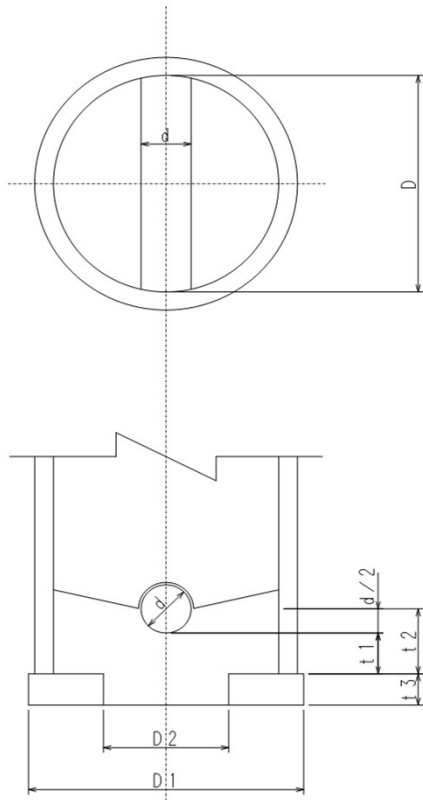
工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	備 考
2号組立人孔	材 料	調整モルタル		mm	76	
		※調整金物の場合	H=25(～25mm)	個		
			H=45(～50mm)	個	2	
		蓋及び受枠	(T-14)	個		
			(T-25)	個	2	
		グランドマンホール用 転落防止梯子		個	2	
	流入管削孔	推進管	HP φ 250	箇所	2	
		開削管	PRP φ 200	箇所	2	
				箇所		
	可とう継手	推進管	HP φ 250	箇所	4	
		開削管	PRP φ 200	箇所	2	
中間スラブ	FRP製 後付け用、2分割			組		
2号組立人孔	底部工	型 枠		m2	0.942	全体
					0.471	箇所
		コンクリート	18-8-40	m3	0.744	全体
					0.372	箇所
		モルタル	t=2cm 1:2	m2	2.604	全体
					1.302	箇所
調整コンクリート		コンクリート	18-8-40	m3	0.687	
No. 10	$0.205 \times 2.066^2 \times \pi / 4 = 0.687$					

2号組立人孔(内径120cm円形)

## 2号組立人孔底部工計算書（1ヶ所当たり）

## 算式の根拠となる構造図・他

流入管径： d1 =	0.250 m	人孔落差： h=	0.020 m
流出管径： d2 =	0.250 m	インバート厚： t1=	0.220 m
平均管径： d =	0.250 m	平均インバート厚： t2=	0.355 m
人孔内径： D =	1.200 m	： t3=	m
基礎外径： D1=	1.450 m		
底板開口： D2=	m	※平均インバート厚=t1+（管径+落差）/2	

[illegible]

薬液注入工 二重管ストレーナ工法（複相方式）集計表

位 置	削孔長 L0(m)				土被り引抜き長 L2(m)	注入面積 (m2)	注入本数 n(本)	注入高(m)				注入量			総注入量 V(kl)	1本当たり施工時間 (min)					1日当たり施工本数 N (本/日)	摘 要
	砂礫土	砂質土	粘性土	計				砂礫土	砂質土	粘性土	計	一次(l/本)	二次(l/本)	Qs(l/本)		T1	T2	T3	T4	Ts		
No.9 到達 上流	3.140	0.400	2.940	6.480	3.580	4.800	5	2.410	0.000	0.490	2.900	621	343	964	4,820							溶液型
No.10 発進 下流	2.070	0.000	4.300	6.370	4.620	10.800	11	1.500	0.000	0.250	1.750	388	211	599	6,589							溶液型
No.10 発進 上流	2.070	0.000	4.280	6.350	4.580	10.800	11	1.500	0.000	0.270	1.770	389	213	602	6,622							溶液型
No.11 到達 下流	2.120	0.000	4.170	6.290	4.410	4.800	5	1.500	0.000	0.380	1.880	396	223	619	3,095							溶液型
No.11 到達 上流	2.120	0.000	4.070	6.190	4.210	4.800	5	1.500	0.000	0.480	1.980	410	237	647	3,235							溶液型
No.12 発進 下流	0.490	1.100	4.290	5.880	2.980	10.800	11	0.000	0.000	2.900	2.900	398	398	796	8,756							懸濁型
合 計							48								33,117							

集計表 (1)

### 3 箇所

[illegible]

鋼製ケーシング式立坑  $\phi 2000$  mm (揺動圧入) 集計表 (2)

[illegible]

鋼製ケーシング式立坑  $\phi 2000$  mm (揺動圧入) 集計表 (3)

[illegible]

舗装切断・取壊し工（共通）

工 種	算 式	数 量
舗装切断	<p>呼び径 = 2.000 m</p> <p>外周長 = <math>2 n r \cdot \tan(180^\circ / n)</math>    <math>n</math> : 辺数、<math>r</math> : 半径</p> <p><math>L = 2 \times 8 \times (2.200 / 2) \times \tan(180^\circ / 8) = 7.290</math>    7.29 m</p> <p>(呼び径+0.200)</p>	
舗装取壊	<p>面積 = <math>n \cdot r^2 \cdot \tan(180^\circ / n)</math>    <math>n</math> : 辺数、<math>r</math> : 半径</p> <p><math>A = 8 \times (2.200 / 2)^2 \times \tan(180^\circ / 8) = 4.010</math>    4.01 m<sup>2</sup></p> <p>(呼び径+0.200)</p>	
舗装仮復旧	<p><math>A = 4.010 - 0.820^2 \times \pi / 4 = 3.482</math>    3.48 m<sup>2</sup></p>	

## 数量計算書

No.

[illegible]

数 量 計 算 書(埋戻し土量計算)

No.

名 称	算 式	単位	数 量
	( No. 9 立坑) 鋼管呼び径 φ 2000 mm		
	t = 16 mm 鋼管内径 φ 2058 mm		
	鋼管外径 φ 2090 mm		
埋戻し高さ	ケーシング部	m	4.280
	一般部 1.50 — 0.250	〃	1.250
仮舗装厚	市道	〃	0.250
ケーシング部埋戻し	グラウトコンクリート		
全体	$V1 = 2.058^2 \times \pi / 4 \times 4.280 = 14.24$	m <sup>3</sup>	
控除	$V21 = -1.10^2 \times \pi / 4 \times 0.13 = -0.12$	〃	底版
	$V22 = -1.10^2 \times \pi / 4 \times 0.900 = -0.86$	〃	躯体ブロック(Ⅱ種)
	$V23 = -1.05^2 \times \pi / 4 \times 3.250 = -2.81$ (4.280-0.130-0.900)	〃	直壁(Ⅰ種)
	$V24 = -0.36^2 \times \pi / 4 \times 0.479 \times 2 = -0.10$	〃	推進管
		m <sup>3</sup>	10.35
一般部埋戻し	流用土		
全体	$V1 = 2.090^2 \times \pi / 4 \times 1.250 = 4.29$	m <sup>3</sup>	
控除	$V21 = -1.05^2 \times \pi / 4 \times 0.650 = -0.56$ (1.500-0.250-0.600)	〃	直壁(Ⅰ種)
	$V22 = -(1.05^2 + 0.82^2) \times \pi / 4 \times 0.600 / 2 = -0.42$	〃	斜壁(Ⅰ種)
	$V23 = \quad^2 \times \pi / 4 \times \quad =$	〃	調整リング
		m <sup>3</sup>	3.31

# 数量計算書

No.

名 称	算 式	単位	数 量
立坑築造工	( No. 10 立坑) 鋼管呼び径 $\phi$ 2000 mm		
	t= 12 mm 鋼管内径 $\phi$ 2066 mm		
	鋼管外径 $\phi$ 2090 mm		
掘削深	(圧入掘削積込工)	m	6.793
圧入深		//	6.993
立坑深		//	5.893
引抜長		//	0.900
土質層厚	粘性土 (N $\leq$ 5) 3.150	m	3.150
	// (5<N $\leq$ 30) 0.900 +0.700 +0.073	//	1.673
	砂質土 (N $\leq$ 30)	//	-
	// (30<N $\leq$ 50)	//	-
	礫質土 (N $\leq$ 30) 0.470	//	0.470
	// (30<N $\leq$ 50) 1.500	//	1.500
	合計	m	6.793
舗装取壊工	県道		
舗装切断工	t=10cm (別途「舗装切断・取壊し工(共通)」より)	m	7.29
舗装取壊工	t=10cm (別途「舗装切断・取壊し工(共通)」より)	m <sup>2</sup>	4.01
残塊処分	As 4.01 $\times$ 0.10	m <sup>3</sup>	0.40
発生土処分	$2.090^2 \times \pi/4 \times 6.793 - 1.97 \times 1.11$	m <sup>3</sup>	21.12

# 数 量 計 算 書

No.

名 称	算 式	単位	数 量
底版コンクリート量		m <sup>3</sup>	3.1
スライム処理	泥水処分量	m <sup>3</sup>	1.2
土留材料			
先頭ケーシング	φ 2000 mm t= 12 mm l= 2.4 m	本	1
中間ケーシング	φ 2000 mm t= 12 mm l= 2.4 m	〃	1
最終ケーシング	φ 2000 mm t= 12 mm l= 1.3 m	〃	1
仮設ケーシング	φ 2000 mm t= 12 mm l= 2.0 m	〃	1
合 計		本	4
ボルト接合		箇所	1
溶接接合		箇所	2
	1箇所当り溶接延長	m	6.3
ケーシング撤去長		m	1.407
ケーシング切断長	2.000 × π + 1.407 × 4	m	11.9
スクラップ重量			
(撤去部)	1.407 × 0.615 t/m	t	0.865
(管渠)	( 0.360 + 0.10 ) <sup>2</sup> × π/4 × 0.0942 t/m <sup>2</sup> × 2 箇所	〃	0.031
(管渠)	( 0.206 + 0.10 ) <sup>2</sup> × π/4 × 0.0942 t/m <sup>2</sup> × 1 箇所	〃	0.007
		t	0.903
円形覆工板	φ 2000 mm用	個	1

## 数量計算書

No.

[illegible]

数量計算書(埋戻し土量計算)

No.

名 称	算 式	単位	数 量
	( No. 10 立坑) 鋼管呼び径 φ 2000 mm		
	t = 12 mm 鋼管内径 φ 2066 mm		
	鋼管外径 φ 2090 mm		
埋戻し高さ	ケーシング部	m	4.188
	一般部 1.50 — 0.500	〃	1.000
仮舗装厚	県道	〃	0.500
ケーシング部埋戻し	グラウトコンクリート		
全体	$V1 = 2.066^2 \times \pi / 4 \times 4.188 = 14.04$	m <sup>3</sup>	
控除	$V21 = -1.45^2 \times \pi / 4 \times 0.15 = -0.25$	〃	底版
	$V22 = -1.45^2 \times \pi / 4 \times 0.900 = -1.49$	〃	躯体ブロック(Ⅱ種)
	$V23 = -1.40^2 \times \pi / 4 \times 3.138 = -4.83$ (4.188-0.150-0.900)	〃	直壁(Ⅰ種)
	$V24 = -0.36^2 \times \pi / 4 \times 0.308 \times 2 = -0.06$	〃	推進管
	$V24 = -0.206^2 \times \pi / 4 \times 0.333 \times 1 = -0.01$	〃	開削
		m <sup>3</sup>	7.40
一般部埋戻し	流用土		
全体	$V1 = 2.090^2 \times \pi / 4 \times 1.000 = 3.43$	m <sup>3</sup>	
控除	$V21 = -1.40^2 \times \pi / 4 \times 0.762 = -1.17$ (1.500-0.288-0.450)	〃	直壁(Ⅰ種)
	$V22 = -( -1.40^2 + 1.09^2 ) \times \pi / 4 \times 0.238 / 2 = -0.29$	〃	斜壁(Ⅰ種)
	$V23 = \quad^2 \times \pi / 4 \times \quad =$	〃	調整リング
		m <sup>3</sup>	1.97

# 数量計算書

No.

名 称	算 式	単位	数 量
立坑築造工	( No. 12 立坑) 鋼管呼び径 $\phi$ 2000 mm		
	t= 12 mm 鋼管内径 $\phi$ 2066 mm		
	鋼管外径 $\phi$ 2090 mm		
掘削深	(圧入掘削積込工)	m	6.350
圧入深		//	6.550
立坑深		//	5.400
引抜長		//	0.900
土質層厚	粘性土 (N $\leq$ 5) 0.900 +3.910	m	4.810
	// (5<N $\leq$ 30)	//	-
	砂質土 (N $\leq$ 30) 1.100	//	1.100
	// (30<N $\leq$ 50)	//	-
	礫質土 (N $\leq$ 30) 0.440	//	0.440
	// (30<N $\leq$ 50)	//	-
	合計	m	6.350
舗装取壊工	市道		
舗装切断工	t=5cm (別途「舗装切断・取壊し工(共通)」より)	m	7.29
舗装取壊工	t=5cm (別途「舗装切断・取壊し工(共通)」より)	m <sup>2</sup>	4.01
残塊処分	As 4.01 $\times$ 0.05	m <sup>3</sup>	0.20
発生土処分	2.090 <sup>2</sup> $\times$ $\pi/4$ $\times$ 6.350 - 3.31 $\times$ 1.11 No.9へ流用	m <sup>3</sup>	18.11

# 数 量 計 算 書

No. \_\_\_\_\_

名 称	算 式	単位	数 量
底版コンクリート量		m <sup>3</sup>	3.1
スライム処理	泥水処分量	m <sup>3</sup>	1.2
土留材料			
先頭ケーシング	φ 2000 mm t= 12 mm l= 2.4 m	本	1
中間ケーシング	φ 2000 mm t= 12 mm l= 2.4 m	〃	1
最終ケーシング	φ 2000 mm t= 12 mm l= 0.8 m	〃	1
仮設ケーシング	φ 2000 mm t= 12 mm l= 2.0 m	〃	1
合 計		本	4
ボルト接合		箇所	1
溶接接合		箇所	2
	1箇所当り溶接延長	m	6.3
ケーシング撤去長		m	1.400
ケーシング切断長	2.000 × π + 1.400 × 4	m	11.9
スクラップ重量			
(撤去部)	1.400 × 0.615 t/m	t	0.861
(管渠)	( 0.360 + 0.10 ) <sup>2</sup> × π/4 × 0.0942 t/m <sup>2</sup> × 1 箇所	〃	0.016
(管渠)	(            +            ) <sup>2</sup> × π/4 × 0.0942 t/m <sup>2</sup> ×          箇所	〃	
		t	0.877
円形覆工板	φ 2000 mm用	個	1

## 数量計算書

No.

集計表 (1)

## 1 箇所

[illegible]

鋼製ケーシング式立坑  $\phi 1500$  mm (揺動圧入) 集計表 (2)

[illegible]

鋼製ケーシング式立坑  $\phi 1500$  mm (揺動圧入) 集計表 (3)

[illegible]

舗装切断・取壊し工（共通）

工 種	算 式	数 量
舗装切断	<p>呼び径 = 1.500 m</p> <p>外周長 = <math>2 n r \cdot \tan(180^\circ / n)</math>    <math>n</math> : 辺数、<math>r</math> : 半径</p> <p><math>L = 2 \times 8 \times (1.700 / 2) \times \tan(180^\circ / 8) = 5.633</math></p> <p>(呼び径+0.200)</p>	5.63 m
舗装取壊	<p>面積 = <math>n \cdot r^2 \cdot \tan(180^\circ / n)</math>    <math>n</math> : 辺数、<math>r</math> : 半径</p> <p><math>A = 8 \times (1.700 / 2)^2 \times \tan(180^\circ / 8) = 2.394</math></p> <p>(呼び径+0.200)</p>	2.39 m <sup>2</sup>
舗装仮復旧	<p><math>A = 2.394 - 0.820^2 \times \pi / 4 = 1.866</math></p>	1.87 m <sup>2</sup>

No.

名 称	算 式	単位	数 量
立坑築造工	( No. 11 立坑) 鋼管呼び径 φ 1500 mm		
	t= 12 mm 鋼管内径 φ 1566 mm		
	鋼管外径 φ 1590 mm		
掘削深	(圧入掘削積込工)	m	6.508
圧入深		//	6.708
立坑深		//	5.608
引拔長		//	0.900
土質層厚	粘性土 (N≦5) 3.150	m	3.150
	// (5<N≦30) 0.900 +0.438	//	1.338
	砂質土 (N≦30)	//	-
	// (30<N≦50)	//	-
	礫質土 (N≦30) 0.520	//	0.520
	// (30<N≦50) 1.500	//	1.500
	合計	m	6.508
舗装取壊工	県道		
舗装切断工	t=10cm (別途「舗装切断・取壊し工(共通)」より)	m	5.63
舗装取壊工	t=10cm (別途「舗装切断・取壊し工(共通)」より)	m <sup>2</sup>	2.39
残塊処分	As 2.39 × 0.10	m <sup>3</sup>	0.24
発生土処分	1.590 <sup>2</sup> × π /4 × 6.508 - 0.09 × 1.11	m <sup>3</sup>	12.82

# 数量計算書

No.

名 称	算 式	単位	数 量
底版コンクリート量		m <sup>3</sup>	1.8
スライム処理	泥水処分量	m <sup>3</sup>	0.7
土留材料			
先頭ケーシング	φ 1500 mm t= 12 mm l= 2.4 m	本	1
中間ケーシング	φ 1500 mm t= 12 mm l= 2.4 m	〃	1
最終ケーシング	φ 1500 mm t= 12 mm l= 1.0 m	〃	1
仮設ケーシング	φ 1500 mm t= 12 mm l= 2.0 m	〃	1
合 計		本	4
ボルト接合		箇所	1
溶接接合		箇所	2
	1箇所当り溶接延長	m	4.7
ケーシング撤去長		m	0.550
ケーシング切断長	1.500 × π + 0.550 × 4	m	6.9
スクラップ重量			
(撤去部)	0.550 × 0.466 t/m	t	0.256
(管渠)	( 0.360 + 0.10 ) <sup>2</sup> × π / 4 × 0.0942 t/m <sup>2</sup> × 2 箇所	〃	0.031
(管渠)	( 0.206 + 0.10 ) <sup>2</sup> × π / 4 × 0.0942 t/m <sup>2</sup> × 1 箇所	〃	0.007
		t	0.294
円形覆工板	φ 1500 mm用	個	1

## 数量計算書

No.

数 量 計 算 書(埋戻し土量計算)

No.

名 称	算 式	単位	数 量
	( No. 11 立坑) 鋼管呼び径 $\phi$ 1500 mm		
	t= 12 mm 鋼管内径 $\phi$ 1566 mm		
	鋼管外径 $\phi$ 1590 mm		
埋戻し高さ	ケーシング部	m	4.950
	一般部 0.658 - 0.500	"	0.158
仮舗装厚	(別途「舗装切断・取壊し工(共通)」より)	"	0.500
ケーシング部埋戻し グラウトコンクリート			
全体	$V1 = 1.566^2 \times \pi / 4 \times 4.950 = 9.53$	m <sup>3</sup>	
控除	$V21 = -1.45^2 \times \pi / 4 \times 0.13 = -0.21$	"	底版
	$V22 = -1.45^2 \times \pi / 4 \times 0.900 = -1.49$	"	躯体ブロック(Ⅱ種)
	$V23 = -1.40^2 \times \pi / 4 \times 3.900 = -6.00$ (4.950-0.150-0.900)	"	直壁(Ⅰ種)
	$V24 = -0.36^2 \times \pi / 4 \times 0.058 \times 2 = -0.01$	"	推進管
	$V25 = -0.206^2 \times \pi / 4 \times 0.083 \times 1 = 0.00$	m <sup>3</sup>	開削管
		m <sup>3</sup>	1.82
一般部埋戻し	流用土		
全体	$V1 = 1.566^2 \times \pi / 4 \times 0.158 = 0.30$	m <sup>3</sup>	
控除	$V21 = \quad^2 \times \pi / 4 \times \quad = 0.00$	"	直壁(Ⅰ種)
	$V22 = -(1.40^2 + 1.20^2) \times \pi / 4 \times 0.158 / 2 = -0.21$	"	斜壁(Ⅰ種)
	$V23 = \quad^2 \times \pi / 4 \times \quad = 0.00$	"	調整リング
		m <sup>3</sup>	0.09

# 水質観測井数量計算書

土 質		砂礫土	砂質土	シルト・粘土	計	継 手	ストレーナー 加 工	備 考
立坑NO.	単位	m	m	m	m	本	m	
9		-	-	-	-	-	-	既存利用、調査工閉塞のみ計上
10		2.070	0.580	4.750	7.4	1	2	
11		2.120	0.430	4.750	7.3	1	2	
12		0.490	1.100	5.310	6.9	1	2	残置のため、調査孔閉塞なし
合 計		4.680	2.110	14.810	21.6	3	6	

# 水質觀測井土質分類表

[illegible][illegible]

# 水質觀測井土質分類表

A	地盤高	86.930	立坑No：12
B	薬注下端高	81.050	
C	B-1.00m	80.050	
A-C		6.880	
改め		6.900	適用Br No. 11
ボ-リンク GL		86.990	
		-0.060	
土 層		土層厚	累 計
1 砂礫土[G]		0.550	0.490
3 シルト・粘土[C]		0.900	1.390
2 砂質土[S]		1.100	2.490
3 シルト・粘土[C]		5.650	8.140
2 砂質土[S]		0.500	8.640
3 シルト・粘土[C]		0.550	9.190
3 シルト・粘土[C]		1.650	10.840
1 砂礫土[G]		0.600	11.440

A	地盤高		立坑 No :	
B	薬注下端高			
C	B-1.00m	-1.000		
	A-C 改め	1.000		
	ボーリング GL	1.000	適用Br No.	0.000
土 層		土層厚	累 計	
			0.000	
砂礫土[G]				0.000
砂質土[S]				0.000
シルト・粘土[C]				0.000
計				0.000